

# シンフォニー

第 42 号  
2019年 5月 May

発行／医療法人社団協会 彩の国東大宮メディカルセンター 編集／広報委員会  
〒331-8577 埼玉県さいたま市北区土呂町1522 TEL.048-665-6111 FAX.048-665-6112 <http://www.shmc.jp>

## 特集

Feature Articles

### 選ばれる 病院になるために



事務部 事務長  
石川 雄一

この度、2018年4月に事務長職に着任いたしました。どうぞ宜しくお願い致します。

さて、事務長としての役割、また病院事務職の役割について思うことを少し述べさせていただきます。事務長の役割は病院経営の管理を行うこと。必要な人材や経費、また様々な情報などに関してアプローチし、現場の医療の質を高めること。「選ばれる病院」になるために、来院してくださる患者さまを増やす対策を練ることになるかと思えます。常に経営の健全化に努め、安定した経営体制が良質な医療を継続して提供できることに結びつきます。

また病院事務職の役割ですが、医療現場をサポートする仕事であり病院運営の下支えの役割を担っています。病院事務職を取り巻く環境も変化し、業務の多様化、そして専門職化しており将来に向けた人材の育成が急務と考えます。事務職員の果たす役割も重要であり時代の動向に対応できる

Greeting



ように努めて参りたいと考えております。

さて2025年にはいわゆる「団塊の世代」が75歳以上の後期高齢者となり医療、介護を必要とする方がますます増加します。当院としても地域の医療機関との連携をしっかりと行いながら体制を構築し、地域の皆様の更に関心される病院になるようにこれからも精進して参ります。



臨床腫瘍科

2018年4月に当院に赴任し、臨床腫瘍科を新設。外来化学療法室専従医として勤務しています。専門は消化器がんをはじめとする固形がんです。当科につきまして、簡単に紹介させていただきます。

臨床腫瘍科 医長

森 美鈴



1

臨床腫瘍科とは

がん薬物療法が急速に進歩してきた近年になって発展した分野で、日本では歴史が浅く、まだまだ専門家の少ない領域です。がん薬物療法専門医として抗がん剤などの薬物を用いた治療を行うとともに、手術・

<p><b>臨床腫瘍科</b> 抗がん剤治療</p>	<p><b>外科・内科</b> 手術治療</p>
<p><b>放射線科</b> 放射線治療</p>	<p><b>緩和ケアチーム</b> 緩和ケア</p>

患者さま      ご家族

放射線治療を組み合わせた集学的治療や緩和治療の検討など、患者さまに最適と考えられる治療法を提示し実行する、がん治療のトータルコーディネーターの役割を担います。

2

がんの薬物療法は今後、より専門的な治療が必要になります

日本では古くから、がんの発見から手術、抗がん剤、緩和治療までのすべてを1人の主治医が担当してきました。しかし医療の急激な進歩により内視鏡治療は一般化され、薬剤の種類は大幅に増えるなど治療は複雑化し、過去のやり方では太刀打ちできない状況へと変わっています。この変化は、片手間について行けるものではないため2人の医者が診断・治療のすべてを一流のレベルで提供していくのはもはや困難な時代です。また目前にせまったゲノム医療では、さらなる専門性が求められます。スポーツなどと同様、プロフェッショナルになればなるほど仕事は細分化され、それぞれに精通した専門家が集まって最強のチームを作りあげていくことが必要です。現在、がん薬物療法専門医は国内に1336名、埼玉県にはわずか40名と明らかに不足しており、残念ながら一部の高度医療機関を除いては、今でも外科や一般内科の医師が担当しているのが現状です。



3

当院におけるがん薬物療法について

がんの治療を行う場所の一つに、がんセンターがあります。先述のがん薬物療法専門医の多くは、このような専門機関に所属しています。しかし、高齢化が進む日本においては糖尿病や心筋梗塞などといった合併症を持つがん患者さまが多く、がんの治療に特化した医療機関での治療は難しいこともあります。当院は総合病院であり、心臓、腎臓、脳神経、糖尿病アレルギーなど各領域に精通した医師が集合していますので、あらゆる場合にもきちんと対応ができることは、がん専門病院とはまた違った利点です。また、外来での化学療法が推奨される時代ですが、高齢や単身など医療以外の理由から入院での治療を希望される場合にも可能な範囲で対応できることは大規模病院にはない特徴と考えます。

がんの多くは難治性です。しかし、闘うための有力な方法は増えています。万が一の場合にも身体的・精神的苦痛を少しでも和らげ、日常生活をがんになる前に近い状態で継続することを目指して、チーム一丸となって患者さまに寄り添った医療を提供することが、当院におけるがん治療の目標です。



# よりよい病院をめざして

## 当院の感染管理について

感染管理は患者さまだけでなくご家族や医療スタッフなど医療にかかわるすべての人を感染から守る活動です。誰もが、安全で質の高い医療を受けることができ、全職員が安全な環境で働くことができるよう院内の感染対策チームを中心として病院全体で感染対策の充実に取り組んでいます。感染対策チームは医師・看護師・薬剤師・検査技師など様々な職種で構成されています。感染症の早期発見と治療、感染対策、抗菌薬管理、原因微生物の検出とそれぞれの専門性を活かし、アウトブレイク等の院内感染を未然に防ぎ、当院を訪れるすべての方が安心して治療等に専念できるよう組織体制・環境・医療材料・感染対策を総合的にマネジメントし、常に質の高い医療が提供できるよう活動しています。



感染管理課 鍋田 科長

### 皆さまへのお願い

病院には、抵抗力の弱い患者さまが多く来院・入院しています。医療関連感染を防止するために職員はすべての場面で感染対策を実施しています。

医療スタッフが个人防护具（手袋、マスク、エプロン、ガウン等）を着用して患者さまに接する場面が多く見受けられますが、皆さまを感染から守るための対策のひとつです。患者さまに接する際、手指衛生をするのは、微生物をみなさまに付着させないためです。

しかし、医療スタッフだけが対策を行っても感染は防げません。患者さまや病院に出入りするすべての方々にも感染対策に協力していただくことが重要になります。

病原微生物は厄介なことに目で見ることができません。見えない微生物の侵入を防止するためには、皆さまの手指衛生や咳エチケットが感染対策につながります。感染対策へのご理解とご協力をお願いいたします。

### ■ 手指衛生

手指衛生には、2種類の方法があります。

- 流水と石鹸による手洗い
- 手指消毒剤を手指に擦り込む方法

院内では、どちらかを選択して実施してください。手指衛生は病室に入る前、お帰りになる時、手が汚れた時、トイレの後に適宜実施してください。



### ■ みんなで守ろう!! 咳エチケット

感染の広がりをおさえるためにご協力ください

<p>■ 症状が出る時は...</p> <p>しゃもじを伸ばし、 ひきしゅ ひいきしゅ</p> <p>マスクを着用する</p>	<p>■ マスクがない時...</p> <p>ひいきしゅ ひいきしゅ</p> <p>ティッシュ・ハンカチで 口・鼻を覆う</p>	<p>■ とっさの時...</p> <p>袖や上着の内側で 鼻と口を覆う</p> <p>マスクやハンカチが 使えない時は 袖で鼻・口を覆う</p>
---	--	---

おさえた手は石鹸と流水でしっかり洗いましょう!!

## 2019年度 新入職員

今年度は総勢92名の新入職員が入職しました。  
集合研修を経て、各部署へ配属されています。  
どうぞよろしくお願いいたします。



- |            |            |            |             |
|------------|------------|------------|-------------|
| 初期研修医 ……9名 | 看護師 ……53名  | 薬剤師 ……5名   | 臨床検査技師 ……4名 |
| 放射線技師 ……4名 | 理学療法士 ……3名 | 作業療法士 ……1名 | 臨床工学技士 ……4名 |
| 事務 ……9名    |            |            |             |

# 患者教室のご案内 (ミニセミナー)

## 5月のスケジュール

5月です。積極的に外に出て、健康づくり。  
さわやかな光と風を全身で感じ、心と体に喜びを。

- 16日(木)「光過敏症のくすり」  
日差しが強くなってきました。お薬だけでなく、普段の注意事項など気をつけることで、症状改善。
- 28日(火)「糖尿病教室」～青葉講演会～  
恒例となりました「青木医師」を招聘しての講演会です。  
今年はどうな話を聞かせて頂けるでしょうか?お楽しみに。

## 6月のスケジュール

梅雨、蒸し暑い季節ですね。これからは、食中毒に注意し、  
体調管理を十分に行いましょう。

- 20日(木)「リウマチのくすり」  
女性に多い間接リウマチ、生活上のポイントとくすりについて学びましょう。
- 25日(火)「糖尿病教室」  
～食後高血糖とGI値(グリセミックインデックス)～
- 27日(木)「上手に飲み物をとって脱水予防!」

## 数字アラカルト

(2018年12月～2019年3月平均)

- 入院稼働率 …… 93.2%
- 1日平均入院患者数 …… 314.2人
- 平均在院日数 …… 15.4日
- 1日平均外来患者数 …… 590.2人
- 救急搬送件数 …… 566件/月
- 手術件数 …… 225件/月
- 紹介患者数 …… 762件/月

興味のあるセミナーに、  
ご自由にご参加ください。

場 所

2F エデュケーションセンター

時 間

13時～

## 交通案内図



- JR**  
宇都宮線・湘南新宿ライン・上野東京ライン  
「土呂駅」東口より 徒歩約11分
- 東武アーバンパークライン**  
「大宮公園駅」より 徒歩約9分
- 自動車**  
首都高速埼玉新都心線「さいたま見沼」ICより 約18分  
東北自動車道「岩槻」ICより 約21分



今年は、4月に新入職員が過去最高の92名入職しスタートしました。  
また年号も5月に平成から令和に変わりました。  
新たな時代とともに、当院も職員一丸となって病院理念に基づき、  
より一層努力していきたいと思っております。

広報委員会/大山